

事業計画書

法人名	NPO法人Re-each		
事業名	自閉スペクトラム症(ASD)の子供達の事を本質的に理解する講演・講習事業		
事業期間	令和7年6月20日	～	令和8年2月28日
事業区分	○ SDGs推進活動	自立促進活動	

1. 申請する法人について

NPO法人の設立登記日	2024	年	12	月	17	日	
NPO法人設立前の団体の設立日		年		月		日	※NPO法人設立前に任意団体等で活動実績がある場合は記載する
事業内容が分かるHPやSNS等	(HP)	https://tokushi-sensei.com/					
	(SNS)	https://www.youtube.com/@reeach_npo					
補助金等の交付実績	1	(補助金等名称)		(交付日・交付額)		年	月 / 円
・ 2022年4月から2025年3月までに	2	(補助金等名称)		(交付日・交付額)		年	月 / 円
交付された補助金等を記載してください。	3	(補助金等名称)		(交付日・交付額)		年	月 / 円
・ 7件以上ある場合は、直近のものから	4	(補助金等名称)		(交付日・交付額)		年	月 / 円
6件を記載してください。	5	(補助金等名称)		(交付日・交付額)		年	月 / 円
	6	(補助金等名称)		(交付日・交付額)		年	月 / 円
活動歴・これまでの活動実績	「自閉スペクトラム症(ASD)の子供達の事を本質的に理解する講習」を1件実施。2025年度6件予定(2025/04/13時点)。						
<70文字×3行程度>	自閉スペクトラム症(ASD)当事者へのインタビュー(毎日約10名と情報交換)						
	SNS(Youtube含む)における投稿。HPの記事投稿(直近3カ月のHP:約2万回表示・約800クリック)。						
申請する事業の位置づけ(1)	○ 継続事業(現在取り組んでいる事業、またはこれまでに取り組んできた事業と同じ内容の事業を申請する)						
・「その他」を選択した場合、	○ 新規事業(これまでに取り組んでいない新たな事業を申請する)						
その内容を記載してください。	その他 (その他の内容)						
申請する事業の位置づけ(2)	講習・講演会事業						
・ 令和5年度または6年度に本助成事業に採択	子育て・支援に係る情報収集及び調査研究事業						
されている場合は、過年度の採択事業から	子育て・支援に係る相談事業						
発展させた内容や違いを記載してください。							
申請する事業に従事する	1	(社員)	大西紗生	(役割)	広報活動、会場設営、事業2の当日運営、会場撤退		
法人社員と役割	2	(社員)	宮倉和希	(役割)	会場設営、事業2の当日運営、会場撤退		
	3	(社員)	阿川幸太	(役割)	会場設営、事業2の当日運営、会場撤退		
	4	(社員)	大槻美冬	(役割)	広報活動		
	5	(社員)		(役割)			

2. 申請する事業の詳細

事業 1	(事業の名称)		(事業の内容)			(実施時期)	(場所:市町村名)	(場所:施設等の名称)
	自閉スペクトラム症(ASD)の子供達の事を本質的に理解する講習		目の前のASD児からは理解が難しい「言動の理由」や「抱く感覚」についてASD当事者の声をもとに理解を深めていく講習を実施する。			6月 ~ 2月	埼玉県内	放課後等デイサービス、児童発達支援事業所、特別支援学校の職員2ASDの子を育てる保護者
	(実施回数)	(事業の対象となる人)	(参加者数合計)	(従事する社員)	(連携団体の数)	(連携する団体等の名称と役割)		
	約30 回	1放課後等デイサービス、児童発達支援事業所、特別支援学校の職員2ASDの子を育てる保護者	300 人	4 人	2 者	はびねすくらぶ北坂戸・はびねすくらぶ北坂戸NEXT(放課後等デイサービス)の2者に広告の配布、宣伝、他の施設への情報提供をお手伝いいただきます。		

事業 2	(事業の名称)		(事業の内容)			(実施時期)	(場所:市町村名)	(場所:施設等の名称)
	自閉スペクトラム症(ASD)の子どもたちの理解を深める講演会		会場を借り、「自閉スペクトラム症(ASD)の当事者が持つリアルな感覚を学べる講演会」を実施する			10月 ~ 12月	川越市	ウェスタ川越
	(実施回数)	(事業の対象となる人)	(参加者数合計)	(従事する社員)	(連携団体の数)	(連携する団体等の名称と役割)		
	1 回	1放課後等デイサービス、児童発達支援事業所、特別支援学校の職員2ASDの子を育てる保護者	90 人	3 人	2 者	はびねすくらぶ北坂戸・はびねすくらぶ北坂戸NEXT(放課後等デイサービス)の2者に広告の配布、宣伝、他の施設への情報提供をお手伝いいただきます。		

事業 3	(事業の名称)		(事業の内容)			(実施時期)	(場所:市町村名)	(場所:施設等の名称)
						~		
	(実施回数)	(事業の対象となる人)	(参加者数合計)	(従事する社員)	(連携団体の数)	(連携する団体等の名称と役割)		
	回		人	人	者			

事業 4	(事業の名称)		(事業の内容)			(実施時期)	(場所:市町村名)	(場所:施設等の名称)
						~		
	(実施回数)	(事業の対象となる人)	(参加者数合計)	(従事する社員)	(連携団体の数)	(連携する団体等の名称と役割)		
	回		人	人	者			

事業 5	(事業の名称)		(事業の内容)			(実施時期)	(場所:市町村名)	(場所:施設等の名称)
						~		
	(実施回数)	(事業の対象となる人)	(参加者数合計)	(従事する社員)	(連携団体の数)	(連携する団体等の名称と役割)		
	回		人	人	者			

3. 申請する事業の目的と内容
<80文字×5行程度> 事業の概要、解決を図る地域課題や社会課題、目的を達成するための実施体制・連携体制はどのようなものか
<p>今回申請する2つの事業は、保護者・支援者の方々が目の前の子からは理解が難しい言動や感覚について、これまで独自にインタビューを行ってきた100名を超えるASD当事者のリアルな言葉を元にASD児への理解を深める事を目指す。ASD児はコミュニケーションに困難さを抱えると共に、常識的・一般的に理解しがたい言動を見せる傾向にあるため、保護者・支援者は関わり方・接し方に苦慮する。基礎知識や感覚を頼りに関わるしかないと感じている支援者は少なくない。また、ASD児を育てる母親は定型発達の子を育てる母親よりも高いストレスを抱える傾向にある事も研究によって明らかになっている。本事業は、そんな保護者・支援者の悩み・苦しさを具体的に解決することを目指す。事業1は現時点で1件実施済み、今年度は6件の実施が予定されている。このペースのアプローチを県内全域に広げる事で30件の実施は可能であると考え。事業2も連携団体と、その他関わりのある放課後等デイサービスや県外の団体の協力によって集客は可能になると考える。</p>
4. 申請する事業の効果
<80文字×5行程度> 申請する事業の効果
<p>申請する2つの事業においては大きく2つの効果があると考えている。1つ目は【学び方の増加】である。書籍やYoutube動画でも、複数の自閉スペクトラム症(ASD)当事者の言葉を発信する個人・団体は非常に少ない。本団体の応援者の方々や講習を受けた方々からも「活動の珍しさ」に関する話を受ける。また、講習時のアンケートではASD当事者の声を聴く事の重要性を全ての方が感じておられた。さらに事業2では実際に当事者の方をお呼びして、ASD当事者の声を直に伝える。上記より、本事業によって保護者・支援者の学び方が増加する効果があると考え。2つ目の効果は、保護者・支援者の【知識・支援技術の向上】だ。講習・講演を行うことによって、基礎知識と感覚を頼りにする子育て・支援は少しずつ姿を消し、ASD当事者が持つ感覚や思いを参考にした支援・指導が行われ、特に支援施設における専門的かつ実践的な議論の促進にも繋がるだろう。この事からも確実に保護者・支援者の【知識・支援技術の向上】という効果も生まれると考える。</p>
<80文字×5行程度> 申請する事業の効果を得るために、申請者の特徴や強みをどのように生かすか
<p>申請する事業の効果を得るため、大きく3つの事を意識しようと考えている。1つ目に個人での広報活動である。代表は、NPO法人Re-eachだけでなく、個人でも情報発信を行っている。Youtubeは登録者約1300人でSNSは合計約2000人のフォロワーがいる。さらに県内放課後等デイサービス(以下、放デイ)との交流も約10件ある。この状況を生かし、事業関連情報を伝える事で事業の効果は確実に得られると考える。2つ目は、放デイ職員として実践・思考を伝えられる事だ。保護者・支援者の方に情報を伝える際には「共感」が非常に大切であると考え。現在も継続している放デイにおける実践・思考は保護者・支援者の方に情報を伝える事業の中で効果をより増大させると考える。最後は自閉スペクトラム症(ASD)当事者との関わりだ。これにより事業2では、全国的にも例を見ない「5名以上のASD当事者」と「保護者・支援者」との交流を叶える。これまで100以上のASD当事者と関わってきたからこそできる企画であると考えている。</p>

<各項目100字程度> SDGsの17の目標に対する事業の効果(最大3個まで記入可)

1	目標名	3 すべての人に健康と福祉を	←17の選択肢から選択する
	効果	人手不足が深刻化し、資格のないアルバイトが多くなっている放課後等デイサービスや、倍率が年々下がりつつある学校教員に対し、本事業を行うことで支援者の質の向上と、支援の充実を目指すことができる。子どもたちが、今よりもっと理解してもらい健やかに暮らせる社会へと変わっていくと考える。	
2	目標名	4 質の高い教育をみんなに	←17の選択肢から選択する
	効果	現在、放課後等デイサービスや学校は深刻な人手不足が課題となっている。本事業で期待される「①学び方の増加」と「②知識・支援技術の向上」によって保護者・支援者の質の向上が期待できる。質の高い支援を子どもたちに与えることができると考える。	
3	目標名	10 人や国の不平等をなくそう	←17の選択肢から選択する
	効果	「障害」に対して偏見を持っている方は一定数いる。実際に「当事者」の気持ちを伝えることで本質的な理解を促進し、偏見を解消していけると考える。 また、その【本質的な理解】は、学んだ保護者・支援者から外へと少しずつ広がっていく事が期待できる。情報発信も行う。	

5. 事業の継続・発展

<80文字×5行程度> 事業を継続的に行うための課題、事業の継続性を高める方法、事業を発展させるための取組はどのようなものか

課題は、継続的に講習を受講してもらえるかどうかという点が考えられる。一度目の講習は無料で多くの方に受講いただくが、2回目以降は有料の設定としている。かなり安価で受講しやすい設定にしているが、見通しが持ちにくい状況ではある。しかし、前向きに考えておられる施設も複数ある。講習の珍しさや必要性を強く感じていただけるような講習を実現する事、講習の前後で行うアンケート調査の結果を、明確に提示し、必要性を感じていただけるようにアプローチすることで継続性を高めていきたい。また、申請する事業は、保護者・支援者のみならず「発達障害への理解」という名目で高校生や大学生といった【これから社会へ進出する層】に対しても発展させていきたいと考えている。「大人の発達障害」という言葉があるように社会に出てから自他の課題を明確に感じる人は少なくない。そのために「必須となる準備」として講習を行っていきたいと考える。また、講演会はどんどん大きな会場へと発展させていきたいと考えている。

6. 事業の自立 ※自立促進活動に応募する場合のみ

<80文字×5行程度> 事業の自立性・継続性を高めるために、(1)寄附金や事業収入を拡大させる取組、(2)他団体の連携、(3)助成金の活用方法はどのようなものか

収支予算書

法人名
事業名

NPO法人Re-each
自閉スペクトラム症(ASD)の子供達の事を本質的に理解する講演・講習事業

1. 収入の部

466,632

項目				予算額(円)	積算内訳							
a.助成金交付申請額				466,000	※千円未満切り捨て/採択区分により補助率と交付額が変わる可能性があります							
b.自己資金				632	※自動計算							
c.事業実施による収入等				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
d.その他				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		

2. 支出の部

466,632

項目				予算額(円)	積算内訳							
a.会場費				13,570	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	ウェスタ川越の会場費	(該当する事業)	活動2	13,570	13,570		×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
b.通信運搬費				5,100	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	チラシ・資料の郵送	(該当する事業)	活動1	5,100	5,100		×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
c.旅費交通費				196,260	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	講習・講演会場への交通費(電車・自家用車・高速道路の利用)	(該当する事業)	共通経費	37,260	37,260		×			×		
(支出の内容)	出演者の交通費(仙台×3)	(該当する事業)	活動2	84,000	84,000	3	×			×		
(支出の内容)	出演者の交通費(関東×1)	(該当する事業)	活動2	15,000	15,000	1	×			×		
(支出の内容)	出演者の交通費(近畿×2)	(該当する事業)	活動2	60,000	60,000	2	×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		

d.消耗品費				122,114	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	コピー用紙	(該当する事業)	共通経費	4,500	4,500		×			×		
(支出の内容)	ワイヤレスマイク	(該当する事業)	共通経費	24,180	24,180	1	×			×		
(支出の内容)	文房具	(該当する事業)	活動1	2,190	2,190		×			×		
(支出の内容)	コピー機用インク	(該当する事業)	活動1	2,144	2,144	1	×			×		
(支出の内容)	ガソリン代(事業1・事業2合計)	(該当する事業)	共通経費	89,100	89,100		×			×		
e.備品費				56,979	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	プロジェクター(エプソン EB-W06)	(該当する事業)	活動1	56,979	56,979	1	×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
f.委託費				12,609	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	チラシ印刷(講習会チラシ1:300部)	(該当する事業)	活動1	2,435	2,435	1	×			×		
(支出の内容)	チラシ印刷(講習会チラシ2:2000部)	(該当する事業)	活動1	5,428	5,428	1	×			×		
(支出の内容)	講演会宣伝資料(600部)	(該当する事業)	活動2	2,835	2,835	1	×			×		
(支出の内容)	講演会当日使用資料(100部)	(該当する事業)	活動2	1,911	1,911	1	×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
g.謝金				60,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	講演会出演者・関係者への謝金(1万円×6人)	(該当する事業)	活動2	60,000	60,000	6	×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
h.人件費				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
i.その他				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		